

病院建築特集 2021

Interview

宮城学院女子大学 生活科学部 生活文化デザイン学科

建築計画研究室 教授 嚴 爽氏



（やん・しゅあ）1992年中国職業大学建築学科卒業。2001年東大大学院後期課程修了。04年宮城学院女子大学助教授。中国北建07年同大准教授。11年から現職。中国北建・京・地・地政流「ふっつ」暮らしからよみとく環境デザイン（共著）など。

日本の総人口が減少する一方、65歳以上の高齢者が占める割合は28.7%と過去最高を記録した(2020年9月時点、総務省統計)。25年には、国民の4人に1人が75歳以上になると予測されている。加速化する超高齢社会に応じて、医療・福祉サービスの多様化や複雑化も進む。本特集では、宮城学院女子大学の嚴爽教授に、理想的な医療体系や医療・福祉施設をデザインする際に注視すべき点を聞いた。併せて、医療福祉建築の最新事例や医療施設向けの機器・製品を紹介する。

患者目線の設計・デザインを



「ハンパ」の精神科病棟での朝食(左)と産後つつの患者病棟。日常生活に近く家具や食器を採り用いた、日常復帰の円滑化を図る。



「厳教授の経歴を教えてください。」
「中国の大学で建築を専攻しました。卒業後、病院建築設計の業務に携わった中で、医療福祉建築に興味を持ちました。1990年代初頭の中国には、医療建築として最も大切な利用者や患者側に立つ視点は存在していませんでした。そこで建築計画という、ユーザーの視点で環境を考える研究ができる日本の大学で医療・福祉建築を学ぶことにしました。」
「来日時に感じた中国と日本の医療福祉施設の相違点はなんですか。」
「当時の中国は医療技術も病院建築も発展途上でした。日本との違いとして挙げられるのは、病院建築の部門別が占める面積割合です。外来、診療、入院といった基本的な部門で構成される点は日本と同じですが、多くは分棟型でした。診療部門は未発達で、渡り廊下などの動線上に配置されることが普通でした。日本の場合、先進的な医療機器が病院に導入され、診療部門が占める面積割合がもっと多かったのではないのでしょうか。また、家族の付き添いが前提の中国に対して、日本は完全看護が実現されていました。看護のあり方の違いによって病棟空間の計画は大きく異なっていました。私が最も日本らしさを感じたのは「患者の視点」です。東大の恩師は病院建築の第一人者で、病院建築に関するプロジェクトをいくつも進めていました。病棟からの景色など、徹底的に患者の立場から空間

を考えたことに感心したのを覚えています。」
「望ましい医療・福祉施設の体系は。」
「在院日数の短い高度急性期病院、高度急性期病院から退院後の回復を支える後方支援病院、医療へのニーズが高い高齢者のための療養型病院の3つに機能を分化するのが良いと考えます。高度急性期病院には高機能の医療技術を集約し、集中的に患者を治療する。救命後はすぐに後方支援病院で、ゆっくり回復するのです。病院建築には「癒しの環境」という言葉があっても、開業照明や自然採光で過剰な環境の創出を図るのは是とされています。ですが、療養に適した環境が治療に適するとは限りません。医師が患者を診療・処置する際、開業照明でははつきり見えませんが、機能分化していれば、急性期病院には明るい照明、後方病院では、開業照明にするなど、機能に合わせて環境をつくることが可能です。」
「諸外国の医療・福祉機能体系を教えてください。」
「基本的に医療費が税金でまかなわれる北欧では、患者が長期入院することはほとんどありません。例えば、フィンランドでは、プライマリ医療を担っているのは地域ごとに設けられている保健センターです。急性期総合病院は数が少なく、在院日数も短いです。回復のための後方病院もあります。一方で、遠方からの患者のために連院用の短期宿泊施設が急性期病院の近くに設けられている場合があります。また、近年は患者の身体的負担が少ない視鏡手術の普及により、日帰り手術が増加し、手術件数や手術室の数が病院の規模を表す新たなベンチマークになりつつあります。」

「医療・福祉施設をデザインする際に重要視すべき点は。」
「高齢者施設では、社会とのつながりの継続が肝要です。外部との交流が図れる場所を設けているのが望ましいでしょう。退院を促すリハビリテーション病院であれば、在宅生活に限りなく近い環境を作り出すことで、大阪の真面目にある千里リハビリテーション病院は「生活リハビリ」を掲げ、患者自身に料理をやらせたり、畳の上を歩く感覚を取り戻してもらったりと、自宅や社会など日常生活を想定したリハビリプログラムを行なっています。またデザイン監修はアートディレクターの佐藤可士和氏が手がけ、医療用ではないインテリアを取り入れて

“生活リハビリ”で日常復帰円滑化

オランダの建築家レム・コールハース氏が施設デザインを手がけたマギーズ・グラスゴー。英国建築家協会の建築賞を受賞した



「がん患者のための『Magpie centre(マギーズ・センター)』の理念は先進的です。乳がんを患った造園家のマギーズ・ケスウィック・ジェンクス氏が、自身の余命を悲嘆に暮れるのではなく明るく過ごす目的でつくったイギリス発祥のがん患者のための居場所のために、患者同士、そして外部の人々と交流できる場と1人になって自分と向き合う場所を用意しています。」
「イギリス国内に20カ所以上、日本、香港、バルセロナにも開設されています。どれもきれいな庭、座って休める広い手洗い、カラフルなインテリアを備え、病院の近くに位置するのが特徴です。診察を受けた後、ふらっと立ち寄れる場所

「読者に伝えたいことは。」
「一生活として、クオリティ・オブ・ライフ(生活の質)に直結する、医療・福祉施設の環境と質に興味をもっといただけたらと思います。建築に携わる方々には医療関係者との「コミュニケーション」を図り、患者の目線に立った医療施設の設計・デザインを心掛けていただければ幸いです。」



広い洗面所(マギーズ・センター)。「人目を気にすることなく、思い切り涙を流せる環境を用意する」という建築要件に基づく

写真提供—嚴教授

 熊谷組 取締役社長 櫻野泰則	 安藤ハザマ 代表取締役社長 福富正人	 前田建設工業株式会社 代表取締役社長 前田操治	 西松建設株式会社 取締役社長 高瀬伸利	 飛鳥建設株式会社 代表取締役社長 乗京正弘	 鉄建建設株式会社 代表取締役社長 伊藤泰司	 株式会社フジタ 代表取締役社長 奥村洋治	 戸田建設株式会社 代表取締役社長 大谷清介	 株式会社竹中工務店 取締役社長 佐々木正人	 大成建設株式会社 代表取締役社長 相川善郎	 清水建設株式会社 取締役社長 井上和幸	 鹿島建設株式会社 代表取締役社長 押味至一	 株式会社大林組 取締役社長 蓮輪賢治
 株式会社ナカフドー建設 取締役社長 竹谷紀之	 株式会社松村組 代表取締役社長 村上修	 青木あすなる建設 代表取締役社長 辻井靖	 りんかい日産建設 代表取締役社長 前田祐治	 東洋建設株式会社 代表取締役社長 武澤恭司	 大豊建設株式会社 代表取締役社長 大隅健一	 株式会社奥村組 代表取締役社長 奥村太加典	 株式会社鴻池組 代表取締役社長 渡津弘己	 東急建設株式会社 代表取締役社長 寺田光宏	 三井住友建設株式会社 代表取締役社長 近藤重敏	 長谷工コーポレーション 代表取締役社長 池上一夫	 五洋建設株式会社 代表取締役社長 清水琢三	 佐藤工業株式会社 取締役社長 宮本雅文

病院建築特集 2021

神奈川病院 一般病棟

地域の皆様から信頼される病院づくり



◆建築主：独立行政法人国立病院機構◆所在地：神奈川県秦野市◆構造：S造(免震構造)◆階数：地上4階◆延床面積：10,380㎡◆病床数：210床◆建築：ナカノフドー建設◆電気：昱◆空調：衛生：研新社◆竣工：2021年3月

本計画では、老朽化した病棟、手術、透視などの部門を集約し、各部門連携の合理化を図った。将来計画も見据え、東側病棟と西側の手術/リハビリ/透視/厨房ゾーンをコンパクトに配置し、富士山を望む屋上テラスなどアメニティーを充実させ、患者だけでなく医療従事者にもやさしい建築を目指した。また、免震構造を採用し、地区では唯一の地域医療支援病院として地域の皆様から信頼される病院であり続けることを目標としている。

山田総合設計

各設計事務所の最新事例

(仮称) 医誠会国際総合病院計画 劇場併設の病院がまちの活性化拠点に



◆建築主：医療法人医誠会、一般財団法人ホロニクス医学健康振興財団◆所在地：大阪市北区◆構造・階数：[外来棟] S一部SRC造、地下1階地上9階(免震構造) [病棟] S一部RC造、地下1階地上15階(免震構造)◆延床面積：63,254㎡◆病床数：560床◆施工：未定◆竣工：2023年6月予定

大阪市公共用地活用事業プロポーザルにより、まちの活性化拠点づくりをめざした複合施設である。医療ツーリズムを通じて多様な人々に高度な医療を提供する560床の国際医療拠点、少人数規模の劇場コンプレックスによる新しい文化・コミュニティを継続的に創造発信する文化創造拠点、健康レストラン、フィットネス等の交流促進拠点により、にぎわい創出を図っている。

安井建築設計事務所

地域医療機能推進機構仙台病院(JCHO仙台病院) 地域住民の健康を支える施設づくり



◆建築主：独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)◆所在地：仙台市泉区◆構造：[病院棟(高層棟)] S造(免震構造) [病院棟(低層棟)] S造(耐震構造) [エネルギーセンター棟] RC造(耐震構造)◆階数：[病院棟] 地上7階 [エネルギーセンター棟] 地下1階地上2階◆延床面積：[病院棟] 31,869㎡ [エネルギーセンター棟] 1,110㎡◆病床数：384床◆施工：[建築] 鹿島 [電気] ユアテック・サンテック J V [機械] 齋久工業◆竣工：2021年2月

来院者を迎え入れるように伸びやかなボリュームとした低層棟に、健康管理センターや患者サポートセンター等を配置し、地域と繋がりが健康を守る機能を前面に据えた。高層棟1階南側に全ての一般外来を配置し、ホスピタルストリートからブロック受付が一望できる明快な空間とした。2階は透視やリハビリに潤沢なスペースを割り当てた。入院エリアはスタッフステーションに直結した観察室など、看守りを重視した構成としている。

山下設計

順天堂大学新研究棟

歴史から未来へ、お茶の水から世界へ



◆建築主：学校法人順天堂◆所在地：東京都文京区◆構造：S一部RC造◆階数：地下2階地上13階◆延床面積：37,640㎡(増築部分28,951㎡)◆設計：[プロジェクトアーキテクト]・基本設計・監理]日本設計[実施設計]KAJIMA DESIGN[コンストラクションマネジメント]東京海上日動フアシリティーズ・山下PMC◆施工：鹿島◆竣工：2020年9月

順天堂大学が掲げる「不断前進」の理念のもと未来につながる医学研究が世界へと広がる。本郷・お茶の水キャンパス再編事業の研究機能の要が昨年9月に完成した。クリエイティブの源として「交流」をコンセプトとし、吹抜けと階段を挟んで南北にオープンプラザを積層し日常的に会いと交流が生まれる場を創る計画である。正面の歴史的ファサードは1906年に建設された順天堂醫院日本館のイメージを再現している。

日本設計

清湘会東砂病院

高齢化する透析患者に応える療養型病院



◆建築主：医療法人社団清湘会◆所在地：東京都江東区◆構造：RC一部S造(免震構造)◆階数：地上5階◆延床面積：8,453㎡◆病床数：91床◆施工：松井建設◆竣工：2020年10月

透析患者の高齢化・独居化に伴う長期入院のニーズに応える療養型病院。長い時間を病院で過ごす患者が、安心して利用できる快適な治療・療養環境を目指した。患者の生活空間となる病棟では、患者の状態に合わせ、使い分けられる病棟とした。容態の安定した患者が多い病棟は、造作棚をベッド間に設け、個室的な4床室とした一方、重症患者の多い病棟は、看護スペースを広くとった病室としている。病室の床頭部にはメディカルコンソール一体の局所排気口を設け、臭気対策とともに感染症対策を行った。廊下には夜間のみ施錠する扉を設け、認知症患者が徘徊時に必ずスタッフステーション前を通る計画とした。

松田平田設計

米沢市立病院・三友堂病院新病院

公立病院と民間病院の融和



◆建築主：米沢市立病院、三友堂病院◆所在地：山形県米沢市◆構造：RC造、梁S造、一部梁端部RC造+中央梁S造(免震構造)◆階数：地下1階地上7階◆延床面積：約40,000㎡◆病床数：米沢市立病院263床程度、三友堂病院199床◆施工：フジタ・後藤組・中村建設JV(予定)◆竣工：2023年7月(予定)

医療再編の動きの中、公立病院と民間病院が、合併ではなくひとつの合築建物として「融和」を図り、地域医療の新しい姿を追求するモデルプロジェクトである。急性期医療を担う米沢市立病院と回復期医療を担う三友堂病院、薬局等を含むアメニティーセンターを、ES事業を担うエネルギーセンターと共に一体的整備をECI方式で進めている。外観は、米沢織に想を得た縦糸と横糸が織りなすデザインとし、地域医療の「融和」を全国に発信する。複雑な事業形態と合築に伴う事業費、医療法、建築関連法規等の課題にチーム一丸となって取り組んでいる。

内藤建築事務所

日本赤十字社長崎原爆病院

地域のフラッグシップホスピタル



◆建築主：日本赤十字社◆所在地：長崎市茂里町◆構造：S一部SRC造(制振構造)◆階数：地上15階◆延床面積：30,333㎡◆病床数：315床◆施工：大成建設◆竣工：2020年3月

設立時は被爆者医療、現在は地域医療の重要な役割を担う赤十字病院(315床)。折り紙のように雁行したファサード、スリムな病棟シルエットによって、表情豊かな外装デザインを実現。西日を遮りながら稲佐山を望む豊かな眺望を病室に取り入れ、安心・安全のランドマークとして長崎の医療に貢献する。

日建設計

写真提供：大神設計/伊東浩



三菱地所設計 + EMOTION 心を動かし、未来をつくる。 代表取締役社長 林 総一郎 www.mj-sekkei.com



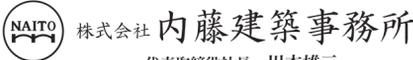
安井建築設計事務所 代表取締役社長 佐野 吉彦 本社 〒540-0034 大阪市中央区島町2-4-7 TEL:06-6943-1371 大阪・東京・名古屋・福岡・仙台・台北・ホーチミン www.yasui-archi.co.jp



山下設計 代表取締役社長 藤田 秀夫 東京都中央区日本橋小町6-1 TEL:03-3249-1555



山田総合設計 YAMADA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC. 代表取締役 深尾 元詞 本社：〒540-0021 大阪市中央区大手通3丁目1-2 エスリードビル大手通 TEL:06-4790-0335 東京：〒113-0033 東京都文京区本郷1丁目30-17 エムアルビル TEL:03-6278-8262 九州：〒810-0001 福岡市中央区天神4丁目1-18 サンビル TEL:092-741-4656 URL:https://www.oym-arco.co.jp



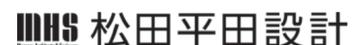
株式会社 内藤建築事務所 代表取締役社長 川本 雄三 本社 京都市左京区田中丸太町182番地 電話 075-781-4111(代) 事務所 東京・名古屋・京滋・大阪・広島・九州 https://naikawa-archi.co.jp



NIKKEN EXPERIENCE, INTEGRATED 日建設計 代表取締役社長 大松 敦



NIHON SEKKEI 日本設計 代表取締役社長 篠崎 淳



MHS 松田平田設計 代表取締役社長 江本 正和 https://mhs.co.jp

空気清浄・陰圧化ユニット (INFシリーズ) ~医療機関や介護施設の簡易陰圧化~

昨今の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のように新型感染症が発生・流行した際には、感染症指定医療機関の入院受け入れ態勢が整うまでの間、一般の医療機関や介護施設で感染症患者や感染疑い入居者を一時的に受け入れることのできる個室が求められます。ダイダンの「空気清浄・陰圧化ユニット(INFシリーズ)」は大規模な改修工事を必要としないため、このような施設でも容易に導入することができます。

本体に送風機とHEPAフィルタを内蔵しており、小規模なダクト工事と1φ100Vコンセント接続で、対象室の簡易的な陰圧化と室内の清浄化を両立できる製品です。また医療機関だけでなく、介護施設にもマッチしやすいデザインを採用しています。

ダイダンは医療・福祉施設に関する豊富な設計・施工の経験を生かし、今後もお客様のニーズに応えるシステムをご提案いたします。

■問合せ先：ダイダン株式会社 エンジニアリング本部 (電話：03-5326-7133)



ダイダン

光と空気と水を生かす Always With You.

最適な環境を最先端の空間制御技術で実現します。



https://www.daidan.co.jp/

病院建築特集 2021

(仮称) 新泉大津市立病院



持続可能な医療提供体制の構築

将来の医療需要を踏まえた持続可能な医療提供体制を構築するため、現市立病院と地理的に近接し、機能的に重複する民間病院との病床機能等の統合、再編・ネットワーク化の実現に向けた取り組みの一環。新病院の設計基本方針として、がん医療・救急医療を中心とした高度急性期・急性期医療の提供、快適な療養環境、自然災害時や感染症対策においても継続して対応することができる安全性・耐震性を確保した建物の整備などを掲げている。

◆建築主：新泉大津市 ◆所在地：大阪府新泉大津市 ◆構造：S一部RC造 ◆階数：地上8階 ◆延床面積：24,017㎡(病院棟) ◆病床数：300床 ◆施工：未定 ◆竣工：2024年5月末(予定)

大建設計

弘道会門真介護医療院



医療と介護が共存する住まい

介護医療院の新築計画。1階は外来のクリニックとデイケア、2～6階は療養階、7階は透析センター、8階は天然温泉の浴室とリハビリテーション室。介護医療院のフロアは、10床の療養室と共同生活室、介護スタッフの拠点で構成されるユニットを、サービスステーションを中心に二つ配置。サービスステーションに近い療養室には医療ガスを備えている。介護医療院として最適な医療提供の場であるとともに、生活の場としてふさわしい空間を目指した。

◆建築主：社会医療法人弘道会 ◆所在地：大阪府門真市 ◆構造：RC造 ◆階数：地上8階 ◆延床面積：7,956㎡ ◆病床数：100床 ◆施工：柄谷工務店 ◆竣工：2021年5月

東畑建築事務所

中部国際医療センター

先端医療と健康増進施設で健康を支える



岐阜県の中濃医療圏の中核病院(502床)の移転新築事業。今回の移転事業に際して陽子線がん治療施設の新設の他、数々の最新の医療機器導入が計画され、急性期医療を主体として機能の拡充が図られる。医療機能に加えてメディカルフィットネスや美濃加茂市の保健センター等の機能を持つ健康増進施設も病院と一体的に整備され、市民の疾病予防や健康づくりの拠点施設として多様なニーズに応えることが期待される。

◆建築主：社会医療法人厚生会 ◆所在地：岐阜県美濃加茂市 ◆延床面積：53,373㎡ ◆構造：S一部RC造(免震構造) ◆階数：地上10階 ◆病床数：502床 ◆施工：フジタ・TSUCHIYA J V ◆竣工：2021年9月(予定)

久米設計

愛媛県立新居浜病院

地域医療のランドマークとなる中核病院



県民の健康と安心を支えてきた中核病院の現地建て替え整備事業である。増改築によって分散していた診療機能を集約、外来機能は利用者の動線に配慮したワンフロアとして計画した。地域の拠り所となり続けることを願い、エントランス空間であるヘルスケアモールには県産材の木を活用したほか、お祭りの装飾を展示するなど風土や地域性を感じられるデザインを随所に施している。また、既存棟の一部は今後改修して管理棟として活用する計画である。

◆建築主：愛媛県 ◆所在地：愛媛県新居浜市 ◆設計：[施設整備マネジメント] 鹿島 [設計協力] 鹿島(構造・設備)、アール・グレイ建築研究室、キンキ開発設計(外構)、エンビックス(サイン) ◆構造：K I P-R C造(免震構造) ◆階数：地上6階 ◆延床面積：20,290㎡ ◆病床数：208床 ◆施工(建築)：鹿島・白石建設工業 J V ◆竣工：2021年5月(診療棟)

佐藤総合計画

村上総合病院

地域に根ざした総合的医療を提供



◆事業主：新潟県厚生農業協同組合連合会 ◆所在地：新潟県村上市 ◆構造：RC一部S造 ◆階数：地上5階 ◆延床面積：22,353㎡ ◆病床数：263床 ◆施工：福田組 ◆竣工：2020年10月

新潟県北の基幹病院として、高度総合医療に基づく保健・医療・福祉の総合的サービスを提供する。外来患者の主な利用機能は全て1階に配置。院内動線の要となるホスピタルストリートを中心として、外来・放射線などの部門を展開する。外来患者の動線を短く分かりやすい計画とした。入院患者の高齢化、重症化に対応するため、患者観察を重視した『見守り型病棟』を採用。各病室がスタッフカウンターに面する配置とし看護拠点を分散化。看護動線を短縮化し、見守られる安心感につながる病棟とした。

石本建築事務所

友愛医療センター

高性能で快適なネクストホスピタル



友愛医療センターは沖縄県南部医療圏の急性期医療を担っている。設計にあたり「患者やスタッフに選ばれる、高性能で快適な病院」をコンセプトとし、急性期医療にしっかり答える機能性と、スタッフの働く環境、患者の生活環境に十分配慮した施設とすることを目標とした。強い日差しと暴風雨に配慮した二重壁構成の外壁、雁行した平面形状と深い軒のバルコニー、縦ルーバーがデザインの特徴となり、リズミカルな外観となっている。

◆建築主：社会医療法人友愛会 ◆所在地：沖縄県豊見城市 ◆設計協力：外間建築設計事務所 ◆構造：RC一部S造(免震構造) ◆階数：地上8階 ◆延床面積：48,102㎡ ◆病床数：378床 ◆施工：西松・大木・金秀・太名嘉・東江・大成ホーム J V ◆竣工：2020年4月

伊藤喜三郎建築研究所



Healthcare Architecture

健和会大手町病院

日本一の救急医療を提供する病院を目指して



地域の救急医療を担う病院として、救急・時間外診察エリアの充実とともに、救急病棟8床を確保し、夜間の緊急入院にも対応できる計画とした。この救急病棟はコロナなどの感染症対応病棟としても使用できる。外来診療は2階にフリーアドレス診察室、専門外来、透析室や内視鏡の集約を行い、部門間連携や患者動線に配慮している。1フロア2看護単位の病棟は、スタッフステーションを中心に看護動線を最短とし、看護しやすく見守りやすい計画とした。

◆事業主：公益財団法人健和会健和会大手町病院 ◆所在地：北九州市小倉北区 ◆設計：梓設計・竹中工務店 J V ◆構造：S造 ◆階数：地上9階 ◆延床面積：35,238㎡ ◆病床数：449床 ◆施工：竹中工務店 ◆竣工：2021年10月31日(予定)

梓設計

KUME SEKKEI

久米設計

代表取締役社長 藤澤 進

〒135-8567 東京都江東区潮見2-1-22 TEL(03)5632-7811 東京 札幌 東北 横浜 名古屋 京都 大阪 九州 沖縄 ハワイ ホーチミンシンガポール

株式会社 AXS 佐藤総合計画

代表取締役社長 細田 雅春

本社 130-0015 東京都墨田区横綱2-10-12 AXSビル 地域事務所 東北・関西・九州・横浜・中部・北京

株式会社 大建設計

代表取締役社長 平岡 省吉

〒141-0022 東京都品川区東五反田 5-10-8 TEL:03-5424-8600 東京・大阪・名古屋・九州・札幌・東北・広島・北九州・静岡・横浜・京都

東畑建築事務所

TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

代表取締役社長 President, Representative Director 米井 寛 Yutaka Yonei

すべての利用者に、ホスピタリティを。 株式会社 梓設計

AZUSA SEKKEI AZUSA SEKKEI Co., Ltd.

株式会社 石本建築事務所

代表取締役社長 長尾 昌高

〒102-0074 東京都千代田区九段南4-6-12 tel.03-3262-7161 http://www.ishimoto.co.jp

伊藤喜三郎建築研究所 K.I.T.O Architects & Engineers Inc.

代表取締役社長 原 勇次

本社 東京都豊島区高田 2-17-22 03-5954-7681 支店 仙台・大阪・九州 WebSite: k-ito.jp

SANKEN ENVIRONMENTAL ENGINEERING

人と空気と水の環境創造



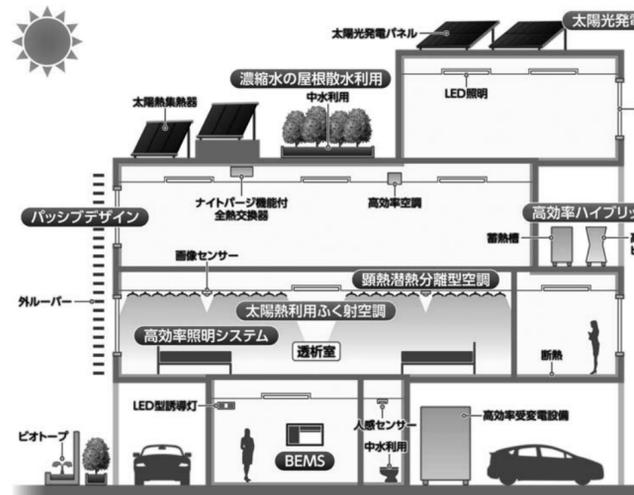
求められる環境を、望まれたカタチにする。三建設備工業は豊富な実績と確かなノウハウで常に最適な環境を創り出します。空気と水、そして、人... この技術を「全て」のために。

空気と水の環境創造企業 三建設備工業 https://skk.jp/

省エネ・省資源に配慮 スマートクリニック 地域医療発展とカーボンニュートラル実現に貢献

高齢化が加速化する中、医療と介護に対する重要性が高まり、地域に根差した通いやすいクリニックは高齢者の方にとっても大きな存在です。三建設備工業では、感染症の拡大防止や快適な室内環境の創造だけでなく、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、省エネ・省資源にも配慮した「スマートクリニック」の導入を推進しています。医療施設における建築設備への高まる要求に対して、温度ムラが少なく風を感じない快適性の高いふく射空調、サラッとした空気で室内環境を快適かつ換気量を増やしても省エネである外気処理空調機(エコサラ)、建築設備の効率的な運用維持・改善に繋げるBEMS(Sanken Smart BA System)などの当社の技術を利用して、安全、快適および省エネな提案をし、地域医療の発展とカーボンニュートラルの実現に貢献していきます。

スマートクリニックのシステム例



三建設備工業